

第 11 回

熊本県議会

# 水俣病対策特別委員会会議記録

平成20年4月24日

開 会 中

場 所 第 2 委 員 会 室

# 第 11 回 熊本県議会 水俣病対策特別委員会会議記録

平成20年4月24日（木曜日）

午前11時40分開議

午前11時50分閉会

本日の会議に付した事件

## 1 正・副委員長互選の件

出席委員（14人）

委員長	西岡勝成
副委員長	前川收
委員	倉重剛
委員	児玉文雄
委員	松村昭
委員	小杉直
委員	早川英明
委員	馬場成志
委員	大西一史
委員	氷室雄一郎
委員	鎌田聡
委員	吉永和世
委員	福島和敏
委員	重村栄

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

説明のため出席した者（なし）

事務局職員出席者

政務調査課課長補佐 武田正宣

政務調査課課長補佐 内田豊

午前11時40分開議

○武田政務調査課課長補佐 担当書記の武田でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、第1回目の委員会でございますので、正・副委員長の互選をお願いします。

委員会条例第6条の2第2項の規定により

まして、年長委員に委員長互選の職務を行っていただくことになっております。

本委員会の年長委員は、松村委員でございます。それでは、松村委員、よろしくお願いいたします。

（年長委員着席）

○松村昭年長委員 それでは、ただいまから第11回水俣病対策特別委員会を開催いたします。

私が年長でありますので、委員長の互選の職務を行います。

委員長互選の方法については、指名推選と投票がございますが、指名推選により行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○松村昭年長委員 御異議なしと認めます。

よって、委員長互選の方法は指名推選により行うことといたします。

それでは、委員長候補者を指名する方を決めたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

（「年長委員一任」と呼ぶ者あり）

○松村昭年長委員 私にという声がありますが、私が指名することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○松村昭年長委員 御異議なしと認めます。

それでは、委員長に西岡委員を指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○松村昭年長委員 御異議なしと認めます。

よって、西岡委員が委員長に決定いたしま

した。

これで私の職務は終わりましたので、委員長と交代いたします。

(年長委員自席へ移動、委員長着席)

○西岡勝成委員長 昨年度に続きまして、委員長にご指名いただきました。副委員長の互選後にあいさつを申し上げたいと思います。

それでは、引き続き、副委員長の互選を行います。

副委員長互選の方法については、指名推選と投票がございますが、指名推選により行いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○西岡勝成委員長 御異議なしと認めます。

よって、副委員長互選の方法は、指名推選により行いたいと思います。

それでは、副委員長候補者を指名する方を決めたいと思いますが、どなたに指名をしていただきましょうか。

(「委員長一任」と呼ぶ者あり)

○西岡勝成委員長 私に一任ということですので、私が指名することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○西岡勝成委員長 御異議なしと認めます。

それでは、前川委員を指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○西岡勝成委員長 御異議なしと認めます。

よって、前川委員が副委員長に決定いたしました。

それでは、前川委員、こちらの方へ。

(前川委員は、副委員長席へ移動)

○西岡勝成委員長 それでは昨年度に続きまして、正副委員長にご指名をいただきました。

早速でございますが、4月の22日に与党PTが半年ぶりに行われまして、私たちも昨年就任しましたときに、全面解決は難しくても、満足いく解決策を目指してがんばりたいとの決意をもって望んできましたが、すでに1年近く経過をしております、なかなかチッソが解決策の受け入れを表明しないという中で、4月22日に与党PTが開催されましたので、そのことについてだけ御報告をしたいと思います。

先週22日に与党PTが開催されまして、執行部から就任直後の蒲島知事、県議会からは私と前川副委員長が出席をしましてまいりました。

その席上において、蒲島知事から救済策の早期実現に向けた要請と、水俣病に向かう熱い気持ちを申し上げられました。

私からは、これまでの県議会のチッソ株式会社に対する強い姿勢とともに、チッソ株式会社の姿勢がこのまま続けば、その支援予算の執行に関して不測の事態の可能性も考えられるということで、県議会の強い怒りを与党PTの皆様方にもお伝えしたところでございます。

また会議では、水俣病犠牲者慰霊式が開催される5月1日に向けまして、今週中に環境大臣がチッソ株式会社の後藤会長に2月に引き続いて再度会って説得される予定になっておりますし、また、それぞれの立場で最大限のチッソに対する説得をしていく確認がされたところでございます。

私は昨年の委員長就任後、何度も地元に入っております、多くの被害者の方々が求めておられますのは、一日も早い救済の実現であります。

こうした被害者の方々の声に応えるために、県議会としても、蒲島新知事としっかりと

連携をとりながら、救済策の早期実現に向けて、引き続き努力をし、全力で取り組む決意でございます。

委員各位におかれましても、同様の認識で、御議論、御協力をいただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、副委員長にもあいさつをお願いしたいと思います。

○前川收副委員長 昨年に引き続き、西岡委員長の御指名を賜り、皆さんの御賛同を得て副委員長に就任させていただきました。前川でございます。

ただいま委員長の御報告の中にもありましたように、チッソ株式会社の姿勢というか、患者救済に向かうその気持ちというのが、私は理解できない状況がございます。不測の事態という言葉、委員長が与党PTの中ではっきりとおっしゃいました。

今後5月1日に向けた慰霊式までの間で、チッソの態度がどう動いていくのか、その見極めも含めて6月県議会に向けた我々の態度を明らかにしていかなざるを得ない、山が動く時期が近いという、私自身は個人的に考えております。

皆さんとともにその動きをしっかりと見極めながら、県民の負託を得た県議会として、常識あるそして良識ある対応をしていかなければならないと思っておりますので、委員会運営どうぞ御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。よろしくお願ひ申し上げます。

○西岡勝成委員長 これをもちまして、第11回水俣病対策特別委員会を閉会いたします。

午前11時50分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

水俣病対策特別委員会委員長